

2021年3月期第3四半期 決算説明資料

 **和弘食品株式会社**

2021年2月12日
証券コード 2813



1. 2021年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト
2. 2021年3月期 第3四半期 月別資料
3. 2021年3月期 連結業績予想

1. 2021年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト
2. 2021年3月期 第3四半期 月別資料
3. 2021年3月期 連結業績予想

※業績数値に係る在外子会社(WAKOU USA INC.)の換算レートは1ドル=103.145円で計算しております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化している影響を受け、日本・米国ともに外食市場向け業務用調味料の販売が大きく低迷し、減収減益となりました。

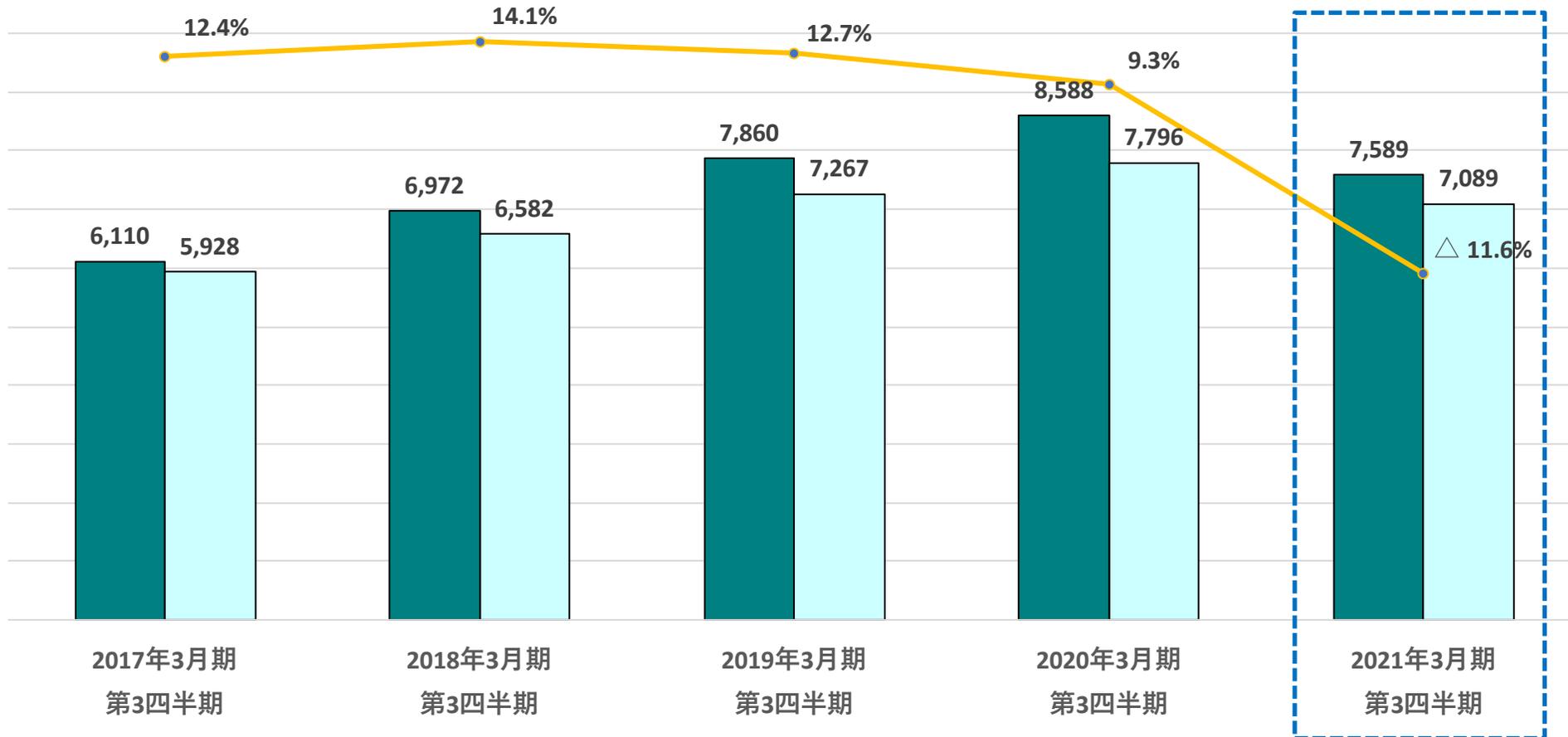
	2020年3月期 第3四半期 (連結)	2021年3月期 第3四半期 (連結)	前年同期比 増減額	(単位：百万円) 前年同期比 増減率
売上高	8,588	7,589	△ 999	△ 11.6%
売上総利益	2,096	1,603	△ 493	△ 23.5%
営業利益	282	△ 155	△ 438	-
経常利益	288	△ 101	△ 390	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	185	△ 100	△ 285	-
1株あたりの当期純利益 (EPS)	226.5	△ 122.2円	△ 348.7円	-

■ 外出自粛等による巣ごもり消費の伸張により、内食・中食市場向け業務用調味料の販売が好調に推移した一方、
 外食需要の低迷により、外食市場向け業務用調味料の販売が低調に推移したため前年増減率△11.6%となりました。

売上高推移（連結・単体）

(単位：百万円)

■ 連結 ■ 単体 ● 増減率（連結）

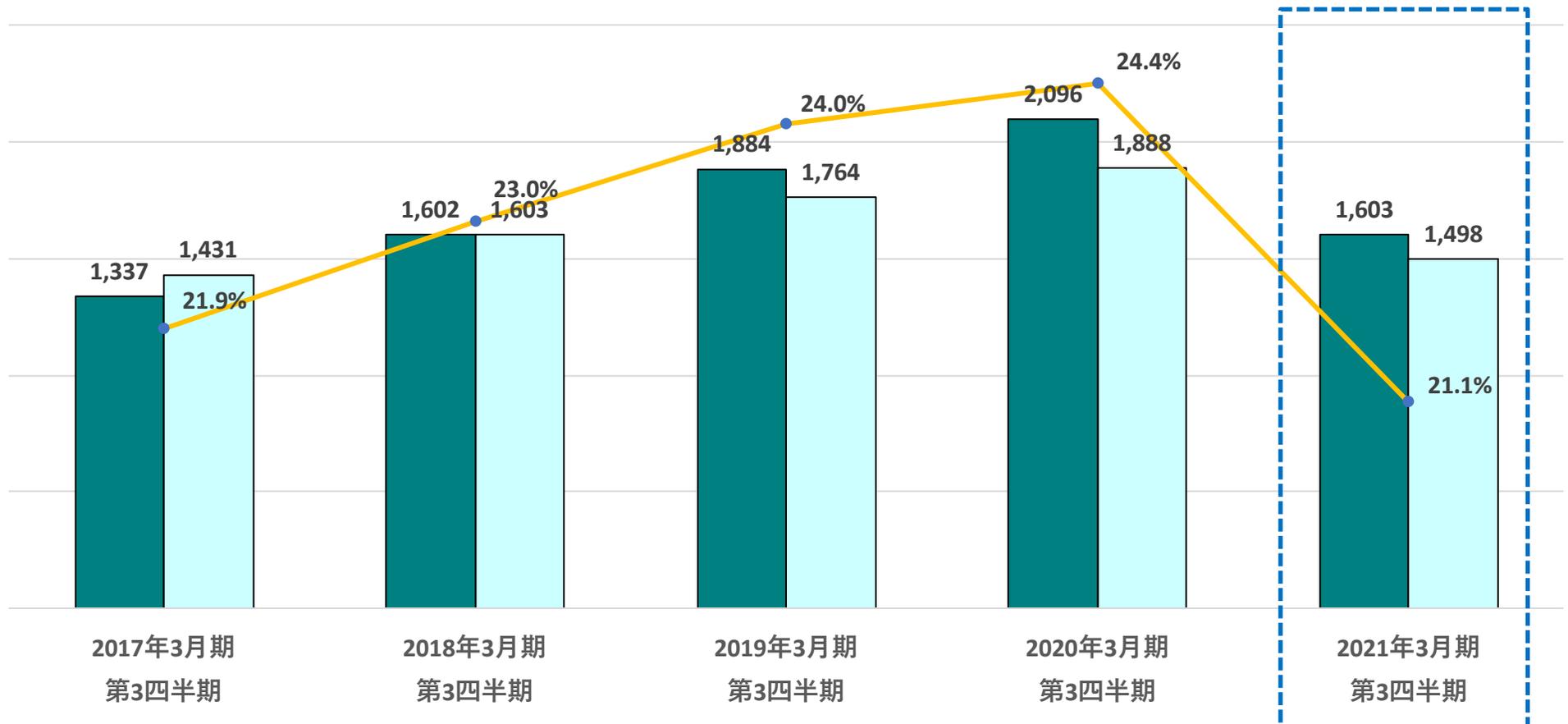


日本・米国セグメントともに売上高の減少に伴い工場稼働率が低下したことで、前年度までの売上急拡大に伴う積極的な設備投資や人件費が原価に大きく影響を与え、利益率は21.1%（前年同期間は24.4%）となりました。

売上総利益推移（連結・単体）

（単位：百万円）

■ 連結 □ 単体 ● 粗利率（連結）

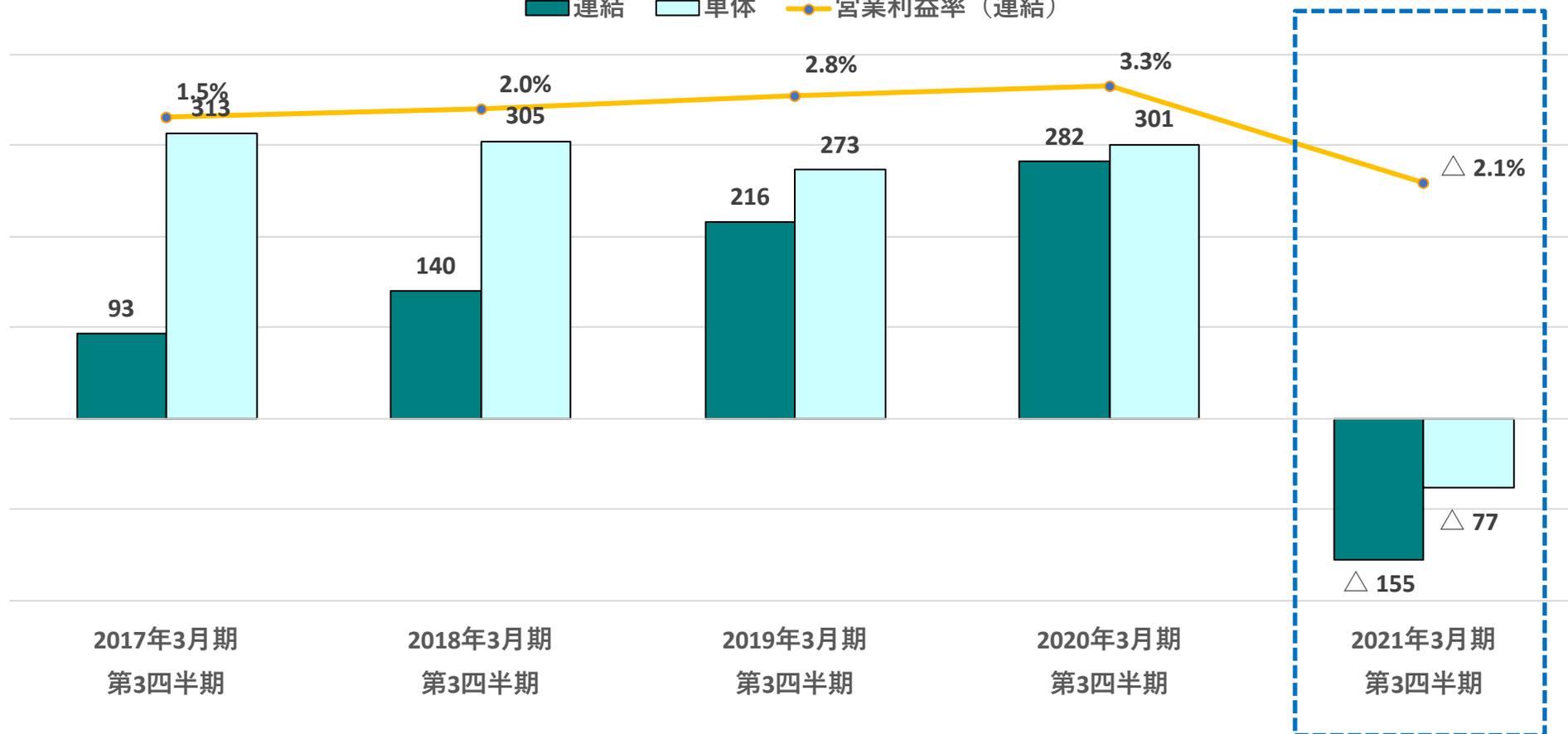


■ 2020年10月から営業利益が大きく改善に向かったものの、4月からの売上高減少に伴う工場稼働率の低下による売上総利益の減少が大きく影響し、営業利益率 $\Delta 2.1\%$ （前年同期間は 3.3% ）となりました。

営業利益推移（連結・単体）

（単位：百万円）

■ 連結 ■ 単体 ● 営業利益率（連結）

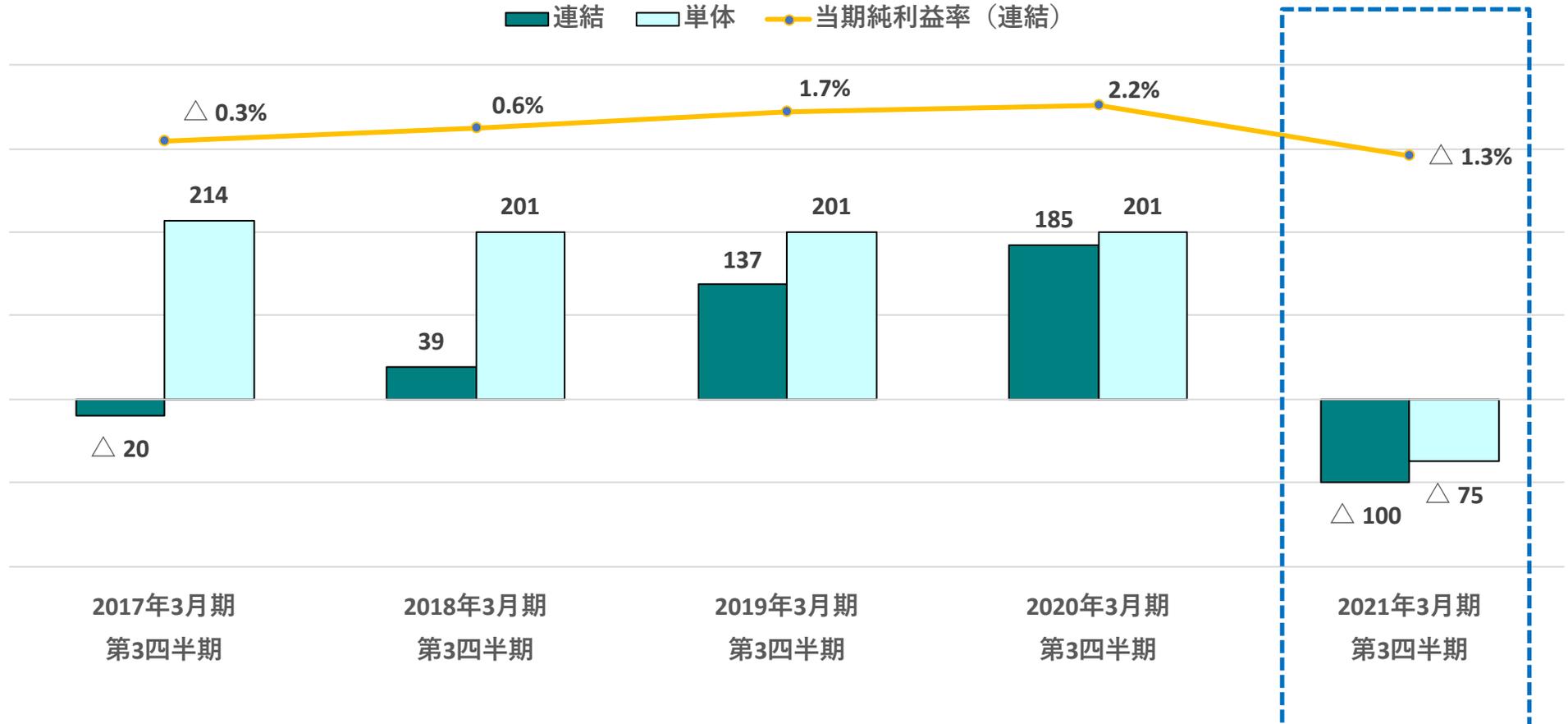


- 日本セグメント：当期純損失75百万円（前年同期間は当期純利益201百万円）
- 米国セグメント：当期純損失21百万円（前年同期間は当期純損失13百万円）

親会社株主に帰属する当期純利益（連結・単体）

（単位：百万円）

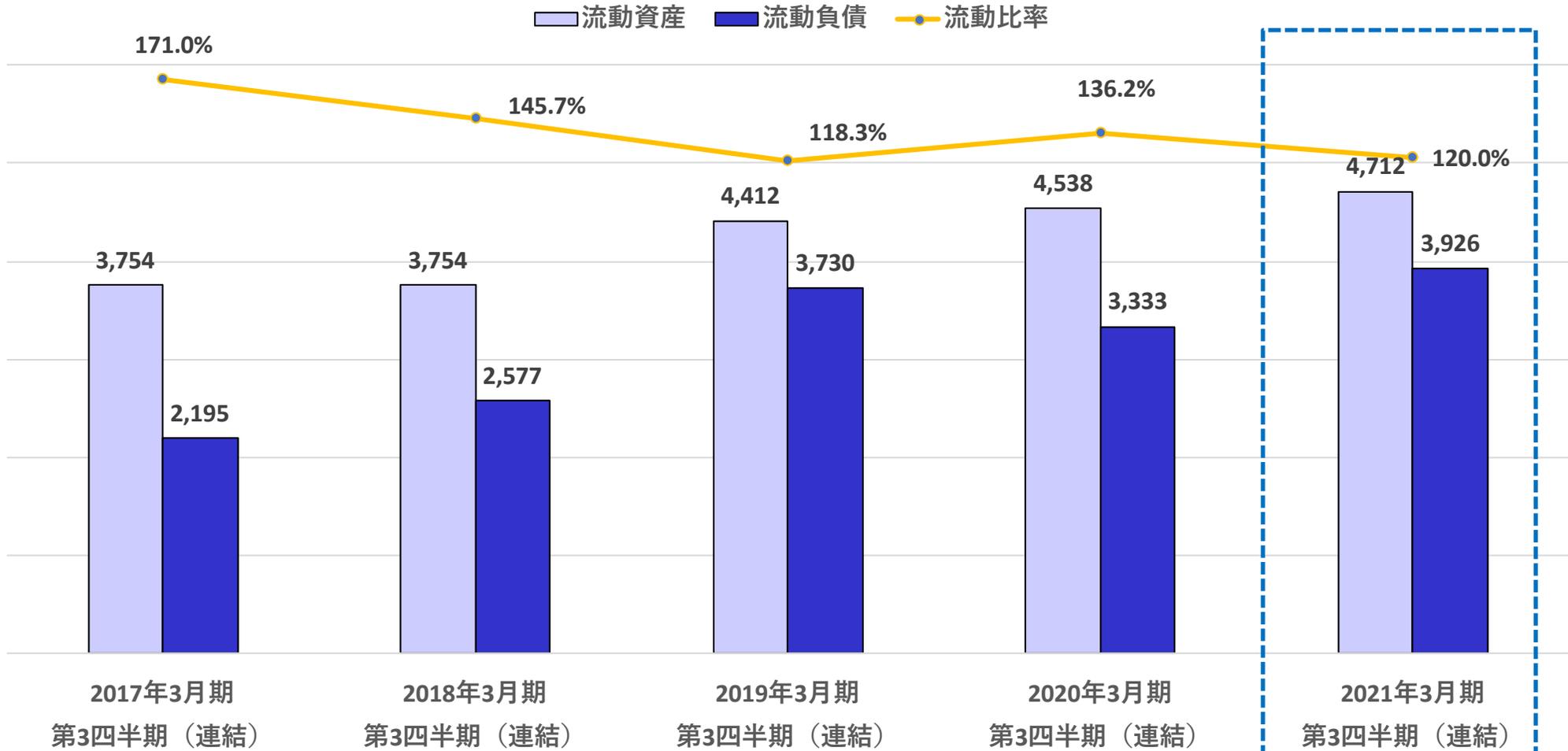
■ 連結 ■ 単体 ● 当期純利益率（連結）



■ 財務基盤の安定化を目指し、社内体質の改善を図るとともに、取引金融機関7行と新規に1,600百万円の当座貸越契約を締結し、当座貸越限度額は3,100百万円としております。

流動比率の推移

(単位：百万円)

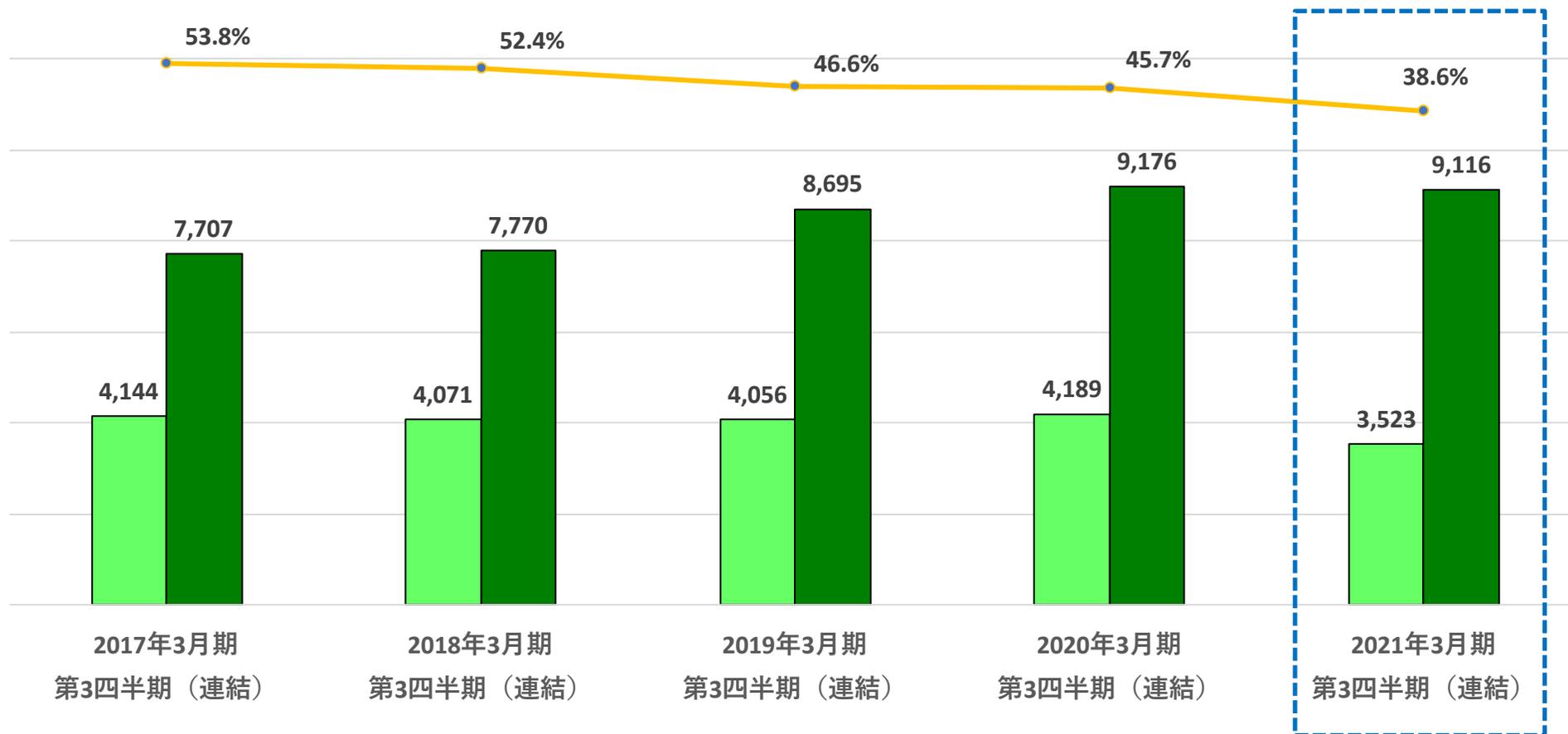


■ 当期純損失の計上、および新型コロナウイルス感染症により今後の経済活動が見通せない昨今の状況に備え、借入金により手元資金を厚くした影響で自己資本比率が減少しました。

自己資本比率の推移

■ 純資産 ■ 総資産 ● 自己資本比率

(単位：百万円)



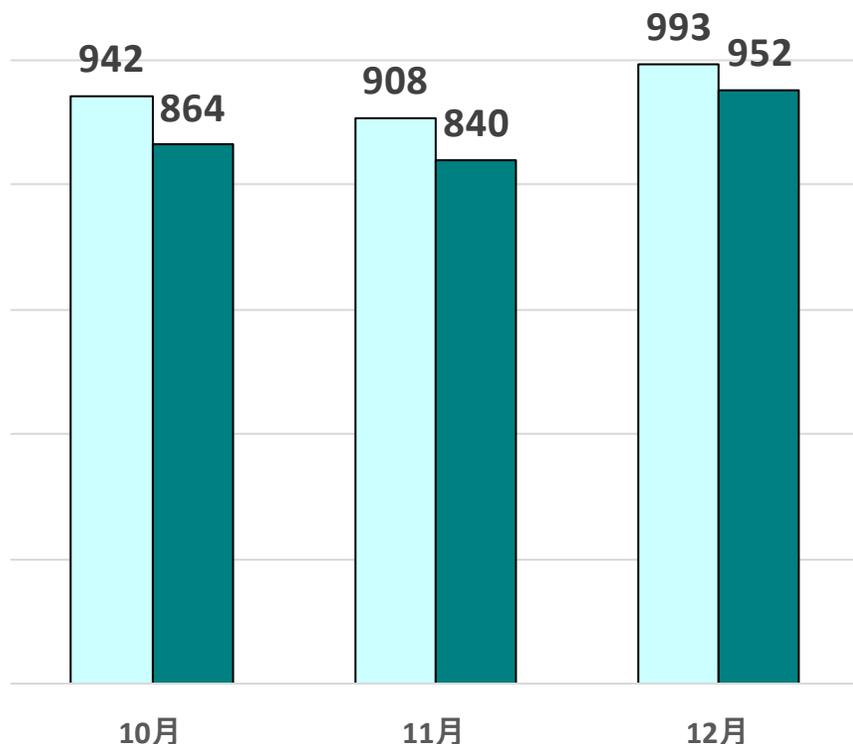
1. 2021年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト
2. 2021年3月期 第3四半期 月別資料
3. 2021年3月期 連結業績予想

■ **日本**：新型コロナウイルス感染症の再拡大により、外食需要が引き続き低迷し、売上が低調に推移しました。
米国：各地で飲食店の閉鎖措置が取られたものの、テイクアウト&デリバリー市場の急拡大により売上が徐々に回復。

月別売上高前年比較（日本）

□ 2020年3月期 ■ 2021年3月期

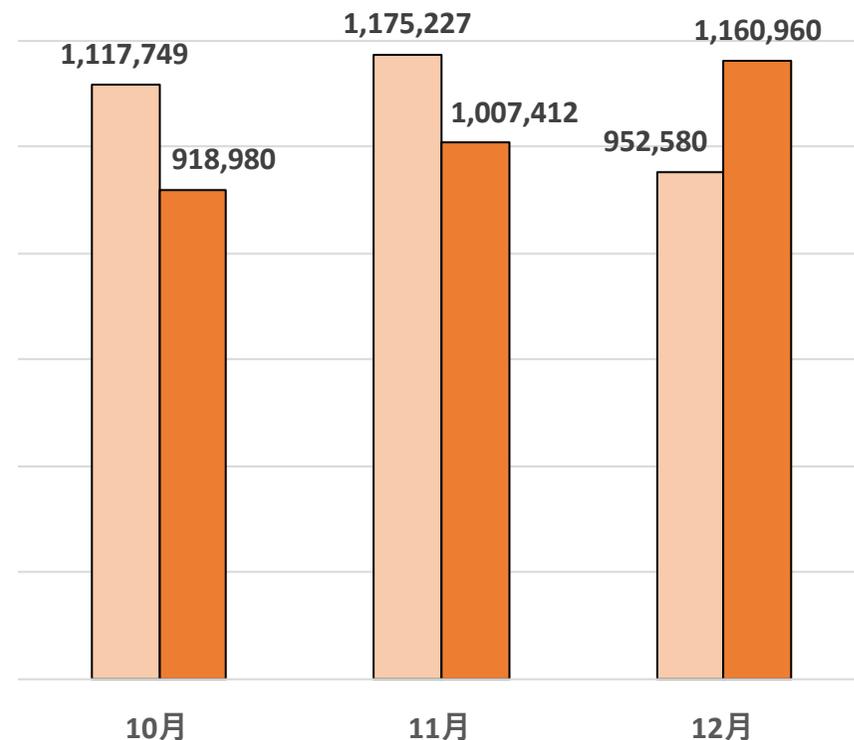
(単位：百万円)



月別売上高前年比較（米国）

□ 2020年3月期 ■ 2021年3月期

(単位：ドル)

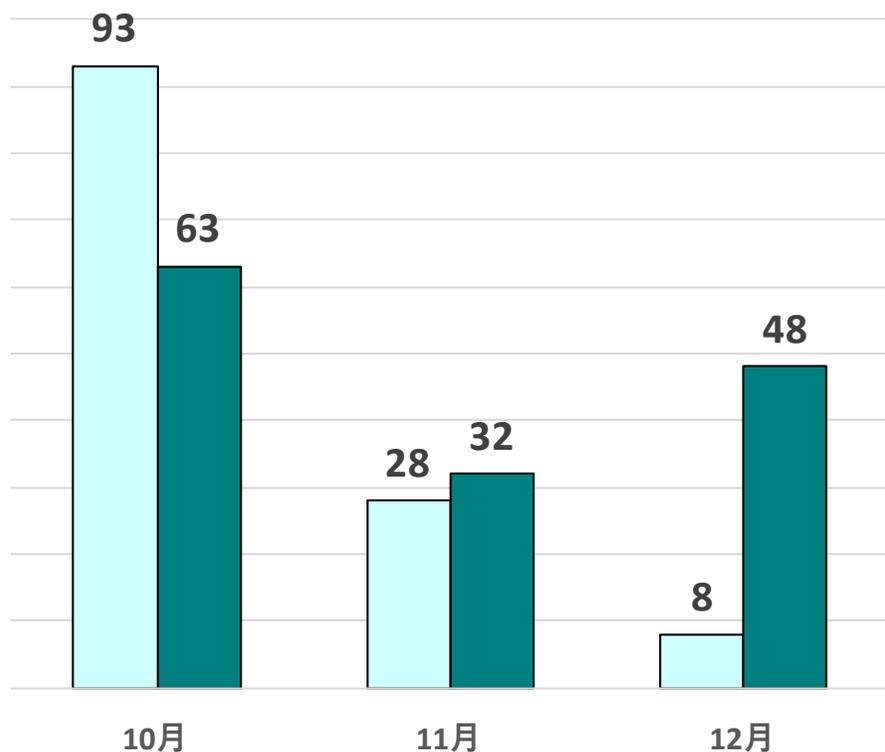


■ 日本・米国セグメントともに前期と比べ売上が落ち込んだものの、冬季商品に向けた工場稼働率の上昇や米国のテイクアウト&デリバリー市場の拡大、および全社的な固定費低減に取り組んだ結果、営業利益の改善が進みました。

月別営業利益前年比較（日本）

(単位：百万円)

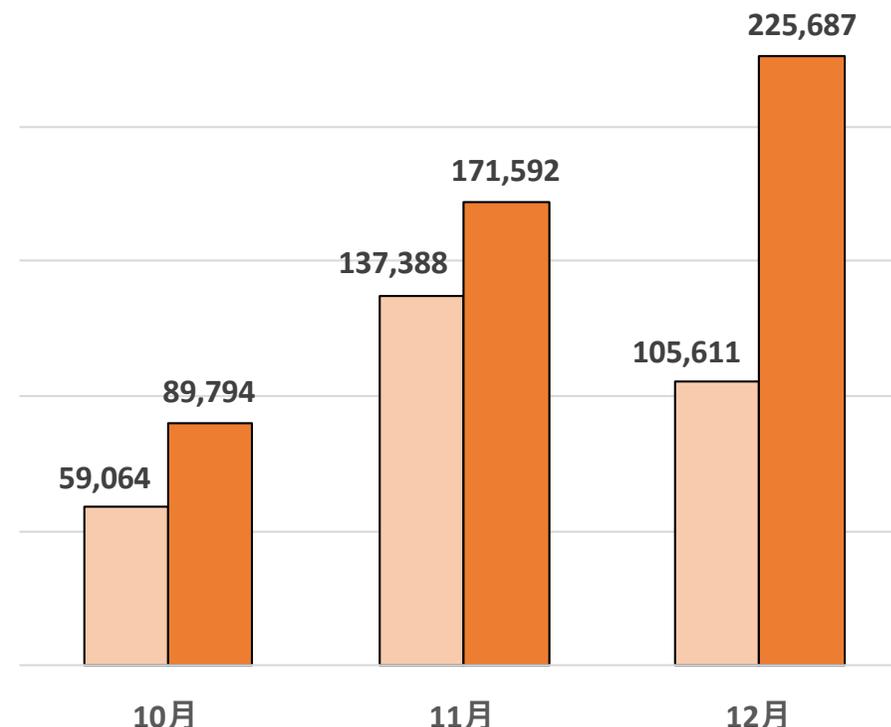
□ 2020年3月期 ■ 2021年3月期



月別営業利益前年比較（米国）

(単位：ドル)

□ 2020年3月期 ■ 2021年3月期



製品別売上は全体的に減少傾向でしたが、Go To イート事業等の影響により外食需要が高まったことで、業務用調味料の売上が徐々に回復しました。(前年同期比第1Q→76.0%、第2Q→83.5%、第3Q→85.7%)

月別製品別売上高前年比較

第3四半期累計比較

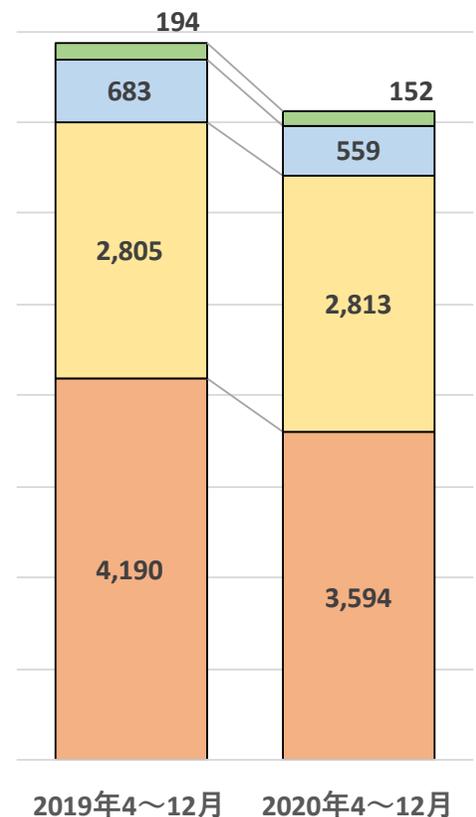
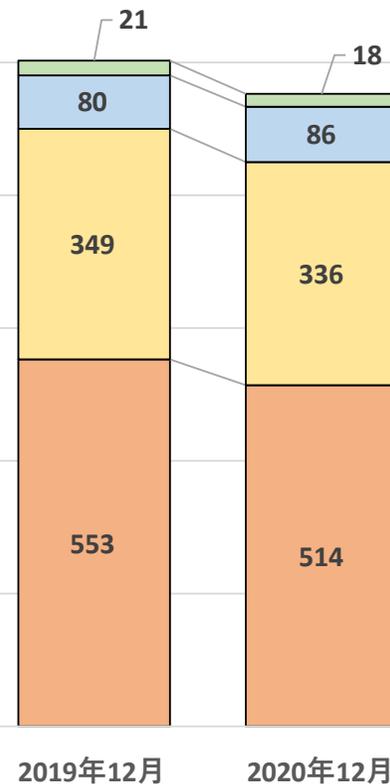
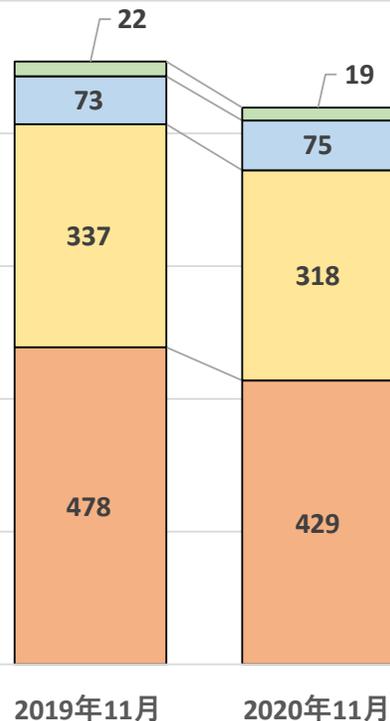
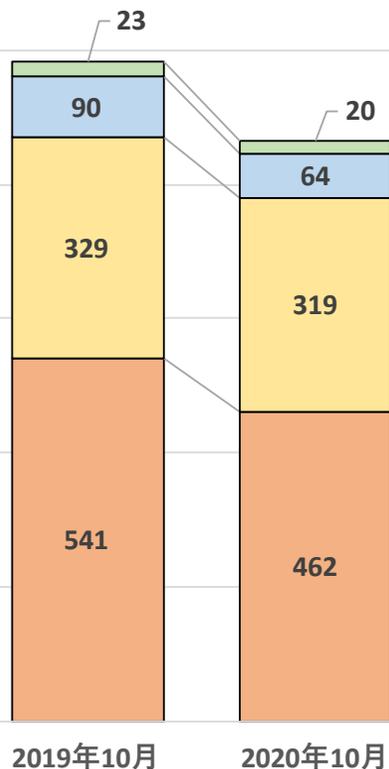
(単位：百万円)

■業務用 ■別添 ■商品 ■エキス等

■業務用 ■別添 ■商品 ■エキス等

■業務用 ■別添 ■商品 ■エキス等

■業務用 ■別添 ■商品 ■エキス等



1. 2021年3月期 第3四半期 連結業績ハイライト
2. 2021年3月期 第3四半期 月別資料
3. 2021年3月期 連結業績予想

2020年12月28日付で通期連結業績予想を公表いたしました。

第2四半期累計期間の実績および、新型コロナウイルス感染症の長期化を想定し作成しております。

(単位：百万円)

	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 通期業績予想	増減額 (2021年予想/2020年実績)
売上高	11,082	9,837	▲ 1,245
営業利益	235	▲ 274	▲ 509
経常利益	245	▲ 217	▲ 462
当期純利益	※▲ 253	▲ 229	24

※前期、米国で新型コロナウイルス感染拡大によるロックダウン等の影響を鑑み、子会社の固定資産減損を計上しております。

(注)上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は今後様々な業況の変化等により変動する可能性があります。

- ◆本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。
- ◆本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではありません。
- ◆本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ



IR担当：廣崎

TEL：0134-62-0505

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp